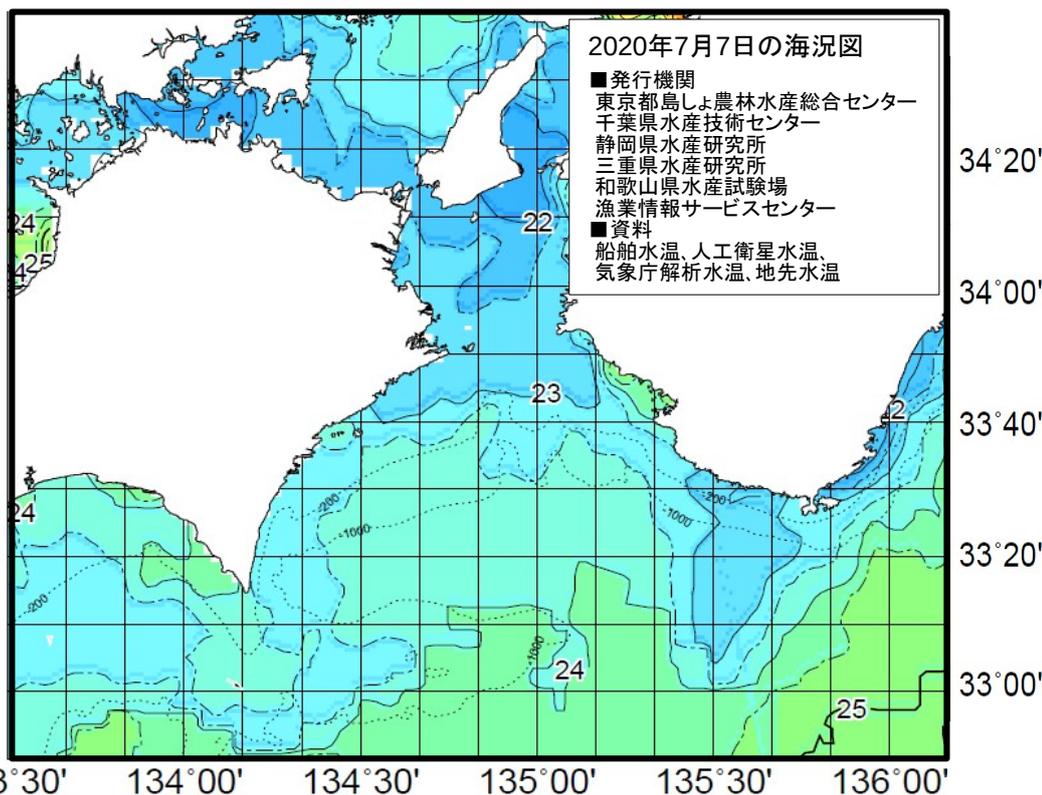


海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖とも「著しく離岸」して流れている。黒潮の表面水温は27℃～28℃台。

徳島周辺海域の水温は、播磨灘と紀伊水道は22℃台、海部沿岸は上灘22℃台 下灘23℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

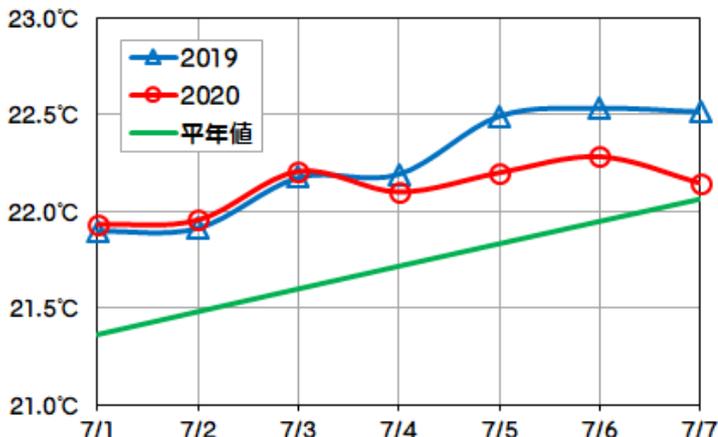
直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

2. 地先水温(2020年7月1日～7月7日)

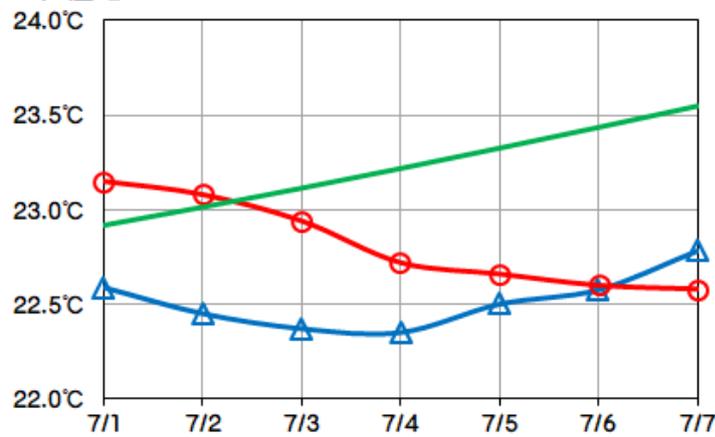
鳴門地区の水温は、「やや高め」～「平年並み」の22.1℃～22.4℃で推移した。

日和佐地区の水温は、「平年並み」のち「やや低め」の23.2℃～22.6℃で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(7月8日～7月14日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「著しく離岸」で推移する見込み。

鳴門地区の水温、日和佐地区の水温とも「平年並み」～「やや低め」で推移する見込み。

漁況 2020年6月29日～7月5日

海部沿岸では荒天等で操業が低調だった。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが増えて187.5ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが大主体に0.9ト水揚げされた。

延縄では、ハモが7.5ト、タチウオが増えて特大主体に0.4ト、マサバが大きく増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが増えて大主体に0.7ト、マアジが増えて小小主体に0.5ト、マダイが増えて0.4ト、ブリが減ってめじろ級主体に0.3ト、カワハギが大主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが中主体に4ト、マダイが減って0.9ト、えそ類が増えて0.9ト、ホウボウが増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

延縄では、アカムツが0.4ト、ハモが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、ウルメイワシが大きく減って0.4ト、マイワシが大きく増えて0.4ト、マアジが大きく減って小小主体に0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マルソウダが減って0.8ト、イサキが0.7ト、マサバが減って中主体に0.5ト、とびうお類が減って中主体に0.5ト、マアジが減って0.4ト、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.2ト、小魚類が大きく減ってさば類、いわし類主体に0.5ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	75	シラス	187,500	2,500		↗
	釣り	25	イサキ	890	36	大主体	→
	延縄	67	ハモ	7,474	112		→
			タチウオ	354	9	特大主体	↗
			マサバ	209	9	大主体	↗↗
	小型定置網	25	イサキ	685	27	大主体	↗
			マアジ	534	24	小小主体	↗
			マダイ	411	17		↗
			ブリ	300	18	めじろ級主体	↘
			カワハギ	220	8	大主体	→
	底びき網	46	ハモ	3,974	86	中主体	→
			マダイ	896	21		↘
			えそ類	893	20		↗
			ホウボウ	243	6	大主体	↗
海部沿岸	延縄	23	アカムツ	353	15		→
			ハモ	268	45		↗↗
	小型定置網	9	ウルメイワシ	417	46		↘↘
			マイワシ	386	64		↗↗
			マアジ	328	33	小小主体	↘↘
	大型定置網	5	マルソウダ	804	161		↘
			イサキ	690	138		→
			マサバ	538	108	中主体	↘
			とびうお類	493	99	中主体	↘
			マアジ	400	80		↘
ブリ			221	44	めじろ級主体	↗↗	
小魚類	490	98	さば類、いわし類主体	↘↘			

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘